

「平成22年度の科学技術に関する予算等の資源配分の方針（案）」についてのコメント

10月8日の総合科学技術会議において議論された「平成22年度の科学技術に関する予算等の資源配分の方針（案）」について、以下のとおりコメントする。

- ① 「Ⅱ 経済と環境が両立する社会」という表現が見受けられるが、新内閣が経済界に対し妥協しているように受け取られるおそれがあるため、表現ぶりについて再検討すること。
また、環境問題の解決のためには国民自らが責任を持つ社会への転換が重要であり、その旨を反映すること。
- ② 「健康長寿社会の実現」という表現は国民にとって分かりにくい
ため、新内閣の基本方針を踏まえ、「人の命を守るための科学技術」と
いった表現ぶりに修正すること。
- ③ 我が国の国際競争力の強化の観点から、知的創造の分野も科学技
術の振興策を強化すべきであり、知的財産についても項目として追
加すべき。
- ④ ICTの利活用による産業・社会活動の効率化等によるCO₂排
出削減効果は極めて大きく、その削減量は2012年には1990年の日
本のCO₂排出量の3%（3,800万トン）に相当すると試算されてい
るなど、ICTは地球温暖化対応に大きく貢献できると考えている。
このようなICT利活用技術の開発推進の重要性を十分に踏まえ、
その旨を明確に記述すること。
- ⑤ 本方針の策定・運用に当たっては、人と人との結びつきによる「ヒ
ューマン・イノベーション」の重要性についても考慮した記述ぶり
とすること。

平成21年10月13日
総務大臣 原口一博